

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

富山県作業療法士会では、2015年に認知症初期集中支援チーム推進委員会を立ち上げ、富山県内の市町村からの依頼に応じたり、県士会員の認知症に関する知識・技術向上への支援を行っている。現在は認知症作業療法委員会と名称を変更し、16名の委員で対応している。活動は当委員会だけでなく、PT・STとの合同のリハビリテーション専門職協議会、県士会内の地域アドバイザー推進委員会や作業療法普及指導部とも連携して取り組んでいる。

## 「若年性認知症の人と家族の交流会」への援助

### 【経緯】

- ・富山県若年性認知症相談支援センターより、「本人家族の交流会の運営に力を貸してもらえないか」との依頼を受ける。

### 【実施】

- ・2020年7月より2ヶ月に1度実施。コロナの影響で中止になることもあったが、現在までに6回実施している。
- ・家族が互いに情報交換を行っている間、作業療法士は保健師や看護師と共に若年性認知症の当事者の方への対応を担当。
- ・達成感や季節感を共有しやすい工作活動を選定して実施。当事者の方の力を引き出し、生き生き過ごすことが出来る場の提供を行っている。

### 【これまでの内容】

トートバック、お菓子バック、クリスマスリース、ランプシェード、団扇、風鈴



## 認知症作業療法アップデート研修

- ・2020年はコロナの影響で中止となったが、2021年3月にWeb開催。
- ・参加者は36名で現地開催時よりもやや多かった。
- ・Web研修開催には戸惑いもあったが、自宅から参加できるメリットは大きく、Webの方が参加しやすいとの声が多かった。
- ・資料の配布方法、研修費の入金方法など運営のノウハウを構築することが出来たので当面Web開催を基本として対応していく。

## COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

以下がCOVID-19により中止となった。

- ・2021年10月：健康と長寿の祭典（PT・STと共に啓発事業を行う予定だった）

### 今後の展開

- ・若年性認知症の人と家族の交流会の援助を継続していく。
- ・認知症作業療法の啓発など、現地で実施しないと成果をあげにくいことも多い。コロナ終息後を見据え、Webと現地開催双方で出来ることを検討していく。